



泉の子

令和7年7月1日
泉小学校
学校便り 第3号



「人とあたたかくかかわる子」 ～命を大切にしよう～

校長 尾上 清

新年度が始まって3か月が過ぎました。1年生も学校生活にすっかり慣れ、毎日、素敵な笑顔が見られます。また、学校全体としても落ち着いた生活が送れています。しかし、今の時期は、梅雨のじめじめした空気がうっとうしかったり、晴れた日の暑さにだるさを感じたりと、過ごしにくい日が続いていますので、体調管理には十分に気を付けて生活してほしいと思います。

【校内運動会】

6月2日には、雨で延期となった運動会を実施することができました。予備日でしたが、多くの保護者の皆様に御参観いただき、感謝申し上げます。そして、子供たちの全力で頑張る姿を御覧いただくことができ、大変うれしく思います。リレーでは、1位でゴールテープを切った子をクラスの友達が大喜びで迎える姿や、バトンパスを失敗してしまった子に数人の友達が寄り添い、肩を叩いて励ます姿など、全力で取り組んだからこそ起こるドラマが様々な場面で見られました。僥倖や団体演技の後には、体操服に付いた砂を払い落とし合いながら、互いの頑張りをたたえる様子が見られました。きっと、どの学年・学級も友達とのかかわりを大切に、仲間の絆を深めながら練習に取り組んできたのではないのでしょうか。

そして、運動会終了後には、そのような姿を見た保護者や地域の方から、「友達を思いやる姿に感動しました。」「人とあたたかくかかわる、ということが実践できていますね。」などの言葉を掛けていただきました。子供たちの姿、保護者や地域の方の言葉に、胸が熱くなりました。運動会での子供たち一人一人の輝き、また、友達や先生とのあたたかなかかわりの中で表れた輝きを、保護者や地域の方に見ていただけたことを心よりうれしく思います。



【命について考える日】

6月6日の朝会では、「命」についての話をしました。浜松市では、6月12日を「命について考える日」としています。これは、今から13年前の平成24年6月12日に、浜松市内の中学生が自ら命を絶つという悲しい出来事が起こったことがきっかけです。遺書はある



りませんでした。いじめがあった可能性もある事案で、悲しみに耐えられない生活を送っていた御家族が、「苦しさから一人の少年が死を選んでしまったこの日を忘れないでほしい」「二度とこのようなことが起きてほしくない」「命を大切にしてほしい」と訴えたことから、この日が作られました。朝会の話では、こういった「命について考える日」が作られた経緯と御家族の思いを話すとともに、私の経験談も伝えました。伝えたのは、交通事故で命を落とした教え子と病気でこの世を去った教え子の話です。当時、その子たちがどんな学校生活を送っていて、亡くなった後、御家族がどんなにつらい生活を送ったか、また、棺を囲んで泣いた同級生たちの様子などを話しました。

「どの子もかけがえのない大切な命です。そして、あなたのことを大切に思う人がそばにいます。だから自分の命を大切にしてください。あなたの周りの人、一人一人にも、その人を大切に思う人がいます。だから、周りの人の命も自分と同じように大切にしてください。傷つく言葉は、相手の命をも奪う刃物になります。相手を思いやる、あたたかい言葉、優しい言葉は、相手の命を救います。人にあたたかくかかわるといことは、相手の命を大切にすることです。泉小の子、全員が、自分の命も、周りの人の命も、大切にできる人になってほしいです。」というメッセージを最後に子供たちに送りました。その日は、泉小学校の「命について考える日」でしたので、道德の授業や学級活動の時間などに、一人一人が命について考え、自分自身を見つめ直しました。

【交通安全リーダーと語る会】

6月30日には、「交通安全リーダーと語る会」が行われました。例年、この会では、通学路における危険箇所を確かめ、安全対策を考える活動をしていましたが、本年度は、自律登校の様子を振り返り、改善点を話し合い、「交通安全宣言」をするという活動に取り組みました。日頃から子供たちの安全を見守ってくださっている、浜松市見守りボランティア、学校運営協議会委員、スクールガードボランティア、泉っこスマイルサポの方々11名と、交通安全指導員の方2名も参加してくださいました。そして、子供たちの安全を見守っている思いや交通安全リーダーに期待することなどを語ってくださったり、話合いの際にアドバイスをしてくださったりしました。地域の方々のあたたかなかわりを受けて、今度は子供たちが、自分たちの行動で、その思いに答える番です。「自分の命は自分でしっかりと守る」

「下級生の命を守るために、交通安全リーダーである最上級生の6年生が手本を示し、積極的な声掛けをしていく（下級生にあたたかくかかわる）」6年生の掲げた「交通安全宣言」が実現できるよう、精一杯の支援をしていきたいと思います。御家庭、地域の皆様にも、是非この6年生を支えていただければと思います。御理解、御協力のほど、よろしくお願いします。

